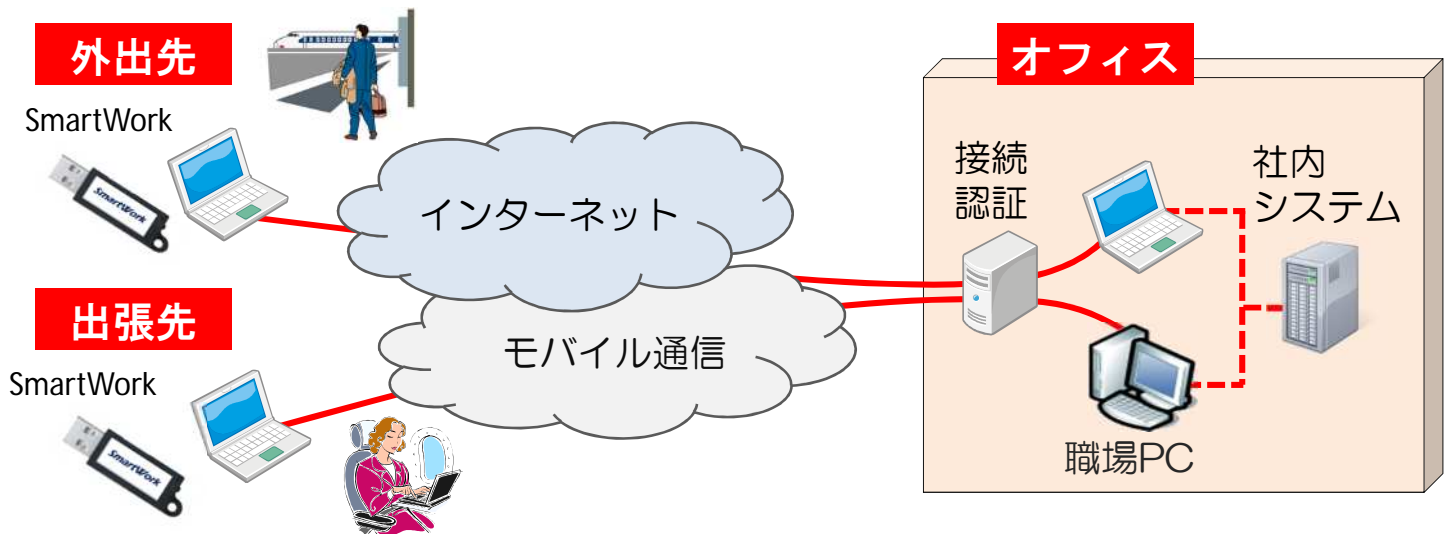


インターネットがあればいつでも どこでもオフィス 世界中から スマートワーク

スマートワークはUSBキーを挿すだけ。手元のパソコンに情報を取り込まない、インターネット通信を自動的に暗号化するなどの機能を低コストで実現。外出先、出張先などからオフィスのパソコンを安全に操作でき、又、出社困難時の事業継続にも有効です。

スマートワークでモバイルワーク

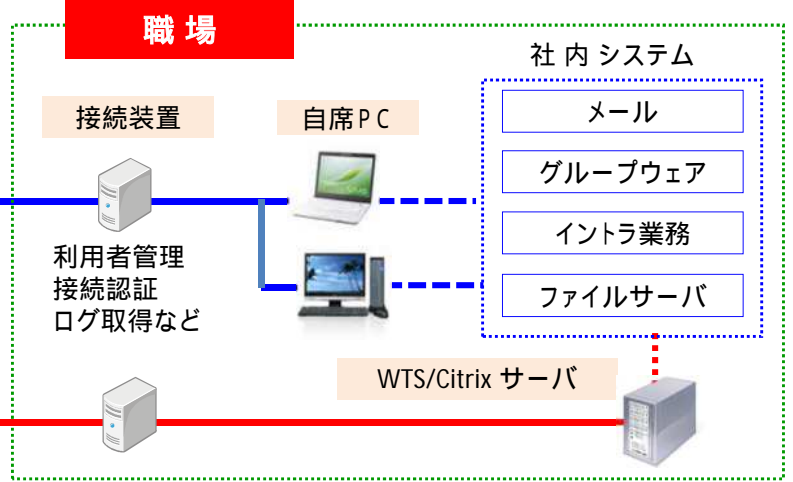
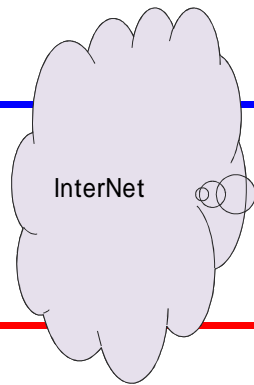


スマートワーク活用のメリット

- 職場PCにも、手元PCにも、ソフトのインストールは不要
- スマートワークの起動は、数秒～十数秒、とてもスピーディ
- Windows PC又はUSBブート可能なPCさえあればOK
- VPN通信機能（暗号化通信）内蔵のため、VPN装置は不要
- USBキーのハード固有情報+PIN+ID・パスワード認証で安全
- 遠隔地からの職場PCの電源オン機能を標準サポート
- スマートワークは買取り製品、初期費用だけで、とても経済的

テレワーク、モバイルワーク、シンクライアントに

外出先、出張先、在宅など

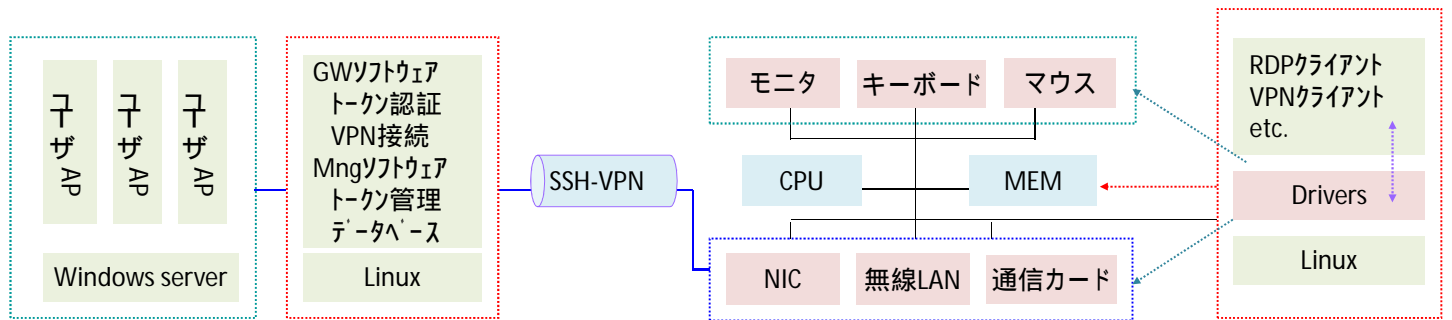


- 管理者は、USBキーに、利用者ID、自席PCアドレス、利用許可アプリや有効期限等を設定して利用者に貸与、自席PCへのアクセスログの取得が可能、管理者は万が一の場合、管理コンソールからUSBキーの無効化が可能
- 利用者はインターネット接続された手元のWindows PCにUSBキーを挿入、個体認証、PIN認証を経てWindowsのID・パスワードの入力で自席PCにログイン（セキュアIDも可）、自席PCにも手元PCにもソフトウェアのインストールは不要
- PCのリモート電源オン機能を標準サポート、外出先などの遠隔地から自席PCの電源オンがインターネットを介して可能
- 用途やセキュリティポリシーに応じて、仮想モードとブートモード（Windows不要、但し機種に制限）の使い分けが可能



ブートモードと仮想モード

スマートワークはブートモードと仮想モードを備えています。ブートモードは3D-CADのような大容量データを扱う場合にも快適な操作性が得られます。但し、PCがブートモードの起動が可能かの事前確認が必要です。仮想モードはWindows PCで使用可能な為、汎用的な利用が可能です。



スマートワーク USB キー の仕様

推奨CPU	Intel Pentium 以上、完全互換のCPUを持つ DOS/V互換機
USBポート	Universal Serial Bus Specification Version 2.0
VPN通信	SSHベースの独自機能
仮想モード	Windows XP SP2 以上、Windows Vista SP1,SP2、Windows 7
本体サイズ	17(W)×58(D)×8.4(H)mm 以内 重量15g 以内

接続認証用サーバの動作環境 (ゲートウェイ機能、利用者管理機能等)

推奨CPU	Intel Xeon 以上、完全互換のCPUを持つ DOS/V互換機
使用OS	Linux OS
メモリ	2GB 以上搭載
外部記憶装置	2GB 以上搭載
プリセットサーバ (ご相談ください)	小型サーバの例 サイズ 3.84×25.2×16.2 cm CPU Intel Atom D510 (1.66GHz) DualCore メモリ 2GB 外部記憶 40GB(SSD) ファンレスで無音

INTERCORE 株式会社インターコア

〒101-0051 千代田区神田神保町3-25-11 九段中央ビル
info@intercore.co.jp
http://www.intercore.co.jp/